

# 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

学校名: 戸田中央看護専門学校

課程: 医療専門課程 学科: 看護学科

教育内容	授業科目	授業の種類	実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性	単位	時間数	1年次		2年次		3年次	
							単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
専門分野 I 基礎看護学	看護学概論	講義 / 演習	病院の機能を理解したうえで、専門家としての責務や役割における責務を遂行した。チーム医療の中で、看護師として対象を理解し看護実践を行った。看護研究を通して看護の質の向上を考えた。	実務経験を活かし、看護とは何か、看護師の役割や責務について学生と討議する。経験を教材にして、中範囲理論を教授し、倫理的問題を提示して学生自身が主体的に学ぶ授業を行う。	1	30	1	30				
	看護の基本となる技術	講義 / 演習	様々な疾患、病気の患者に対する看護を経験。看護の基本技術をもとに、優先度をふまえて対象に関わり看護実践をしてきた経験がある。	実務経験を活かし、健康障害をもった患者と関わるために必要な技術、考え方について実践的な内容を含めた講義と技術指導を行っている。	1	30	1	30				
	フィジカルアセスメント	講義 / 演習	慢性期・急性期においてあらゆる年齢層・疾患に対して看護をしてきた。フィジカルアセスメントを通して患者の状態を把握し看護をしてきた経験がある。	実務経験を活かし、対象の生命徴候を捉え、どのように観察・アセスメントし看護につなげるのかを実践的な事例を通して講義と実技指導を行っている。	1	30	1	30				
	生活を整える技術 I	講義 / 演習	内科・外科系病棟においてあらゆる年齢層の対象に対し看護を経験。その中で、対象に合わせた日常生活を整える看護を実践してきた。	実務経験を活かし、健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術について講義を行い、実践的な演習を通して援助技術を習得できるよう、指導を行っている。	1	30	1	30				
	生活を整える技術 II	講義 / 演習	食事、排泄などの生活援助を実践した病棟経験がある。小児から高齢者、終末期の患者まで、様々な疾患を抱えた患者一人一人に合わせた手法を用いて看護を実践してきた。	実務経験を活かして実践的な事例を含めた講義と技術指導を行い、対象者の日常生活における未充足への基本的援助技術を習得できるようにする。	1	30	1	30				
	生活を整える技術 III	講義 / 演習	内科・外科系病棟においてあらゆる年齢層の対象に対し看護を経験。その中で対象に合わせた、日常生活を整える看護を実践してきた。	実務経験を活かし、健康を促進するために必要な清潔の援助技術について講義を行い、実践的な演習を通して援助技術を習得できるよう、指導を行っている。	1	30	1	30				
	回復を促す技術 I	講義 / 演習	内科・外科系病棟において、周手術期から回復期、終末期まで様々な段階のあらゆる年齢層を対象に看護を経験。検査・治療を受ける対象への看護を実践してきた。	実務経験を活かし、検査・治療を受ける対象に必要な看護について、講義と演習を展開し指導を行っている。	1	30	1	30				
	回復を促す技術 II	講義 / 演習	対象の年齢や疾患問わず、診療の補助を経験してきた。基本に基づき適切な方法で看護を実践してきた。	実務経験を活かし、実践的な事例を含めた講義と技術指導を行い、基本に沿った援助技術を習得できるようにする。	1	30	1	30				
	臨床看護総論 I	講義 / 演習	急性期～慢性期病棟においてさまざまな疾患やあらゆる年齢層の患者に対する看護を経験。アセスメントから主要症状に対する早期発見と、患者のニーズを捉えた看護を実践してきた。	実務経験を活かし、さまざまな機能障害をもった患者のアセスメントの視点とその看護について、臨床での事例を用い実践的な内容を含めた講義と技術指導を行っている。	1	30	1	30				
	臨床看護総論 II	講義 / 演習	内科・外科病棟において学童期～老年期にあたる様々な対象の看護を経験。その中で対象に合った看護展開を行い実践してきた。	実務経験を活かし、対象の健康障害をアセスメントし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義をおこなっている。	1	30	1	30				
成人看護学	成人看護学概論	講義 / 演習	急性期から慢性期病棟で成人期から老年期までの看護を経験。成人期の健康問題における疾患に対して、患者・家族を対象として入院中から退院後の生活までを含めた看護を実践していた。	実際にあった患者・家族の事例を用いながら、現代の成人の生活や健康問題について授業展開していく。また、事例を通して看護の意味を考えることで、理論について理解を深めていく。	1	30	1	30				
	呼吸と循環の看護	講義 / 演習	急性期から慢性期病棟で成人期にある対象の看護を経験。手術療法・化学療法・放射線療法を受ける患者や家族に対しての看護、退院や転院の支援などの看護を実践している。	病棟での実務経験を活かし、成人期の健康障害をアセスメントし実施評価する過程について実践的な事例を含めた講義と看護実践方法を学ぶ。	1	30			1	30		
	栄養と代謝の看護	講義 / 演習	病棟看護師として実務経験を有し、成人期における周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援などの看護を実践している。	病棟での看護実践を踏まえ、栄養と代謝機能に障害のある看護について、疾患や障害の事例を用い、患者の理解につながる内容とする。また画像や実物を使用しながら、具体的なイメージを持って学べるように病棟での臨床経験を踏まえて講義する。	1	30			1	30		
	内部環境の看護	講義 / 演習	内科病棟では、生活習慣病(糖尿病)から合併症である腎障害による透析患者との看護を実践している。また造血機能障害患者に対し、化学療法や輸血療法を受ける患者や家族への看護を実践していた。	内科病棟での看護実践を踏まえ、臨床における疾患や障害の事例を用い、患者の理解につなげる。また画像や実物を使用し、具体的なイメージを持って学べるように病棟での臨床経験を踏まえて講義する。	1	30			1	30		
	認知と運動の看護	講義 / 演習	病棟看護師として実務経験を有し、成人期における周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援などの看護を実践している。	認知と運動に障害のある患者の身体的・心理社会的側面に及ぼす影響をとらえた看護過程を展開する。学生が術前・術後の患者を具体的にイメージでき、興味を持てるように臨床で経験したエピソードや、合併症の実例などを交えながら講義を展開する。	1	30			1	30		
	周手術期の看護	講義 / 演習	集中治療室、急性期病棟での実務経験を有し、患者・家族を対象に術前から術後、退院支援の看護を実践していた。	臨床での経験をふまえた事例を用いて、周手術期における患者・家族の状況がイメージしやすいように、必要な看護を学習していけるよう授業展開をしていく。また、ドレーンなどは実物や画像を使用し、理解が深まるようにする。	1	15			1	15		
	人生の終焉の看護	講義 / 演習	緩和ケア病棟で、成人から老年期にある対象とその家族に対して、薬物療法や放射線療法などにより心理・社会・スピリチュアルケアなど包括的な看護を実践している。	病棟での実務経験のある認定看護師がその経験を活かして終末期の看護について授業を行う。	1	15			1	15		
老年看護学	老年看護学概論	講義 / 演習	急性期から終末期までの、家族を含めた高齢者看護を経験。カテーテル検査・治療や透析等、侵襲を伴う検査・治療の様々な看護の経験を有する。	実務経験を活かし、高齢者の「その人らしさ」を支える高齢者看護と看護師の役割について、事例を通して講義を展開する。	1	30	1	30				
	高齢者への日常生活支援	講義 / 演習	病院での臨床経験を有し、周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援などの看護を実践している。	実務経験を活かし、高齢者の全体像と強みを捉えその人らしい自立に向けた援助について、事例を通して講義を展開する。	1	30			1	30		
	健康障害を持つ高齢者の看護	講義 / 演習	急性期から終末期までの、家族を含めた高齢者看護を経験。カテーテル検査・治療や透析等、侵襲を伴う検査・治療の様々な看護の経験を有する。	実務経験を活かし、様々な病期にある高齢者を生活機能の視点からアセスメントし、実践的な看護展開に結び付ける講義を展開する。	1	30			1	30		
	老年看護過程	講義 / 演習	病院での臨床経験を有し、周手術期から回復期・終末期の看護を経験。手術療法・化学療法や退院・転院支援などの看護を実践している。	実務経験を生かし、患者と家族を1単位として、退院後の継続看護を踏まえた目標志向型の看護過程の講義を展開する。	1	15			1	15		

小児看護学	小児看護学概論	講義 / 演習	胎児から成人移行期まで様々な発達段階にある子どもとその家族に対する看護を経験。多職種と協働・連携した看護実践をしている。	実務経験を活かし、小児看護の理念、歴史と意義、子どもを取り巻く社会、子どもの権利について、実践的な事例を含めた講義と演習を行っている。	1	15	1	15				
	成長発達への支援	講義 / 演習	小児科病棟新生児集中治療室において重症新生児の看護を経験、夜間外来で各発達過程にある小児の看護を行っている。また、産科病棟で新生児の看護を実践している。	胎生期から学童期までの幅広い小児の看護を実践した経験から、成長発達を支援していくための授業を展開していく。	1	30			1	30		
	小児臨床看護論	講義 / 演習	小児科病棟で乳幼児から学童まで様々な発達段階の児とその家族に対して看護を経験。手術療法、化学療法を受ける児に対して小児看護に特徴的な手法を用いて看護を実践している。	実務経験を活かし、小児の健康障害をアセスメントし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導をおこなっている。	1	30			1	30		
	健康障害のある小児の看護	講義 / 演習	低出生体重児から思春期までの様々な発達段階の児とその家族に対する看護を経験。小児看護に特徴的な看護を実践している。	実務経験を活かし、小児の健康障害をアセスメントし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導をおこなっている。	1	30			1	30		
母性看護学	母性看護学概論	講義 / 演習	産科病棟にて妊産婦とその子どもを含む様々なライフサイクルにある女性への看護を経験。主にマタニティサイクルにある女性に対し、妊娠、分娩が正常からの逸脱がなく経過され、その後の育児がスムーズに開始できるように介入している。	実務経験を活かし、各ライフサイクルにある対象の理解や、母性とはなにか、生命はどのように誕生するのかなど、自己の生命観や生命倫理について考える機会となるよう、事例を交えながら講義を行っている。	1	30	1	30				
	ウイメンズホルス	講義 / 演習	産婦人科病棟や外来において、妊婦、産婦、褥婦への保健指導及び思春期、更年期にある女性の保健指導を行っている。	実務経験を活かし、ライフサイクル各期にある女性の健康保持増進支援にむけた授業を展開する。	1	15			1	15		
	妊婦と産婦の看護	講義 / 演習	産科病棟にて褥婦と新生児及びその家族への看護を経験。新生児の母体外生活への移行が順調に進むための支援、褥婦の正常経過を支援し、また、育児がスムーズに開始できるように介入している。	実務経験を活かし、褥婦及び新生児への、主に正常経過を支援するための看護、及び正常を逸脱した場合の看護についても展開する。	1	30			1	30		
	褥婦と新生児の看護	講義 / 演習	産科病棟にて分娩介助および妊産婦とその家族への看護を経験。妊娠、分娩が正常からの逸脱がなく経過され、その後の育児がスムーズに開始できるように介入している。	実務経験を活かし、妊婦と産婦への、主に正常経過を支援するための看護、及び正常を逸脱した場合の看護についても展開する。	1	30			1	30		
精神看護学	精神看護学概論	講義 / 演習	精神障害をもつ患者やその家族への精神的ケアをした経験がある。	実務経験を活かし、心の構造について、不安から生じる精神機能異常として現れる精神症状について講義している。また、歴史的な精神医療について振り返り、精神看護の課題と展望について講義する。	1	30	1	30				
	精神の健康を守る看護	講義 / 演習	心療内科での実務経験あり。身体症状・精神症状を訴える患者に対して臨床において看護の提供を実施していた。	人が誰も抱えている精神的ストレスについて理解し対処方法を理解することで、自分や他者に対して目が向けられるように講義展開を行う。また、精神におけるコミュニケーションは、大切な援助であり対象に合わせた方法を実践を要するため、演習を展開している。	1	15			1	15		
	精神症状の回る人の看護	講義 / 演習	精神科病棟で急性期・慢性期病棟で勤務を経て現在、精神科訪問看護を行っている。	実務経験を活かし、精神科における安全な治療的環境について講義を行い、更に演習を通して学ぶ。精神疾患の主要症状、精神科救急、災害の看護について事例を用いて講義を行っている。	1	30			1	30		
	精神機能に障害がある囚への社会支援	講義 / 演習	就労移行支援・定着支援・相談支援など精神障害者に対する地域生活支援を行っている。	精神科領域が入院中心から地域生活が中心となり、看護師の役割は広がりを見せ、社会資源などの知識が必要とされている。実務経験を活かし実際に行われている活動から、事例を中心に講義・演習を行っている。	1	30			1	30		
在宅看護論	在宅看護学概論	講義 / 演習	地域病院や訪問看護ステーションで在宅看護を経験。退院支援や在宅看護で療養者だけでなく、家族・介護者への支援も行ってきた。	在宅での医療技術・観察する視点・看護を実務経験を活かし、事例を紹介・活用しながら在宅看護の概要について講義を行う。	1	30	1	30				
	在宅看護の技術	講義 / 演習	介護保険制度の施設・療養病床または在宅訪問診療・在宅入浴で看護を経験している。	実務経験と実体験を活かし、在宅生活のアセスメントをし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導を行っている。	1	30			1	30		
	在宅医療に即ち支援	講義 / 演習	地域病院や訪問看護ステーションで在宅看護を経験。退院支援や在宅看護で療養者だけでなく、家族・介護者への支援も行ってきた。	在宅での医療技術・観察する視点・看護を実務経験を活かし、事例を紹介・活用しながら講義と技術の授業・演習を行う。	1	30			1	30		
	在宅看護過程	講義 / 演習	介護保険制度の施設・療養病床または在宅訪問診療・在宅入浴で看護を経験している。	実務経験と実体験を活かし、在宅生活のアセスメントをし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導を行っている。	1	15			1	15		
看護の統合と実践	ケーススタディ	講義 / 演習	病院で看護師として実践した看護について論文としてまとめ研究発表を行う。	文献検索の方法を学び文献リストを作成する。看護実践の結果としてデータ収集の方法、分析方法を学び実際に1事例をについて事例研究としてまとめる。全学年参加の発表会で視聴覚資料を用いて発表する。	1	15					1	15
	看護マネジメント	講義 / 演習	現職の看護部長として看護部のトップマネジメントを行っている。また、医療安全対策室での経験、感染対策室での経験をもつ。	実務経験をもとに、看護マネジメントについて実践的に展開する。実習での学びを振り返りながら現場で起こりうる看護について演習を行う。	1	30					1	30
	災害と看護	講義 / 演習	高度急性期の救急医療の現場で実践を行いながら、日本DMAT隊員としても活動している。震災時など被災病院や被災地の避難所、救護所での看護活動や生活支援の経験もあり、災害発生時の急性期から回復期、慢性期への看護実践を多く経験している。	実務経験をもとに、災害時の医療支援体制及び救護活動について授業する。被災地での支援活動の実際をふまえ、日ごろの防災・減災の備える活動につなげる。	1	30					1	30
	看護の統合と実践	講義 / 演習	病院で看護師として看護を提供していた経験を活かし現場で遭遇しやすい場面を考える。臨床工学士として医療機器の取り扱いについて実践している。海外での看護の経験を活かし国際看護について考えていく。	実務経験を活かし看護現場で遭遇しやすい場面について例題を上げてグループでの意見を参考にしながら実践に結びつけるように考えていきます。現場に出たときに活用するベースを作ります。	1	30					1	30
合計					41	1110	16	465	21	540	4	105

専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	合計	省令で定められた基準単位数
300	810	1110	240